

私の生活どうなる

介護・医療負担増狙い急ピッチ

安倍政権はいま、「令世代型社会保障」への転換を掲げ、介護保険の利用者負担増や給付削減、医療費の自己負担増などの社会保障改悪に向け急ピッチで議論を進めています。こうした動きに高齢者・家族に不安や反対の声が広がっています。東京都練馬区の長原完（かん）さん、洋子（よし子）さん夫婦の場合は。

（西口友紀恵）

洋子さん（76）は6年前、認知症と診断を受けました。徐々に進行し、現在要介護3。会話や字を読むのが難しく、衣服の着脱、トイレへの誘導、服薬管理など生活全般に介護や見守りが必要です。完さん（81）は「老々介護の大変さは想像以上です」と語ります。

年金消える

週4日のデイサービスや月3泊4日のショートステ

イ、介護ベッドや洋子さんがベッドから離れたことを知らせる離床センサーなど

の福祉用具、週1回60分の訪問介護などの利用が、生

活相談たのってきた完さん。一人暮らしで認知症になつた知人の高齢者は、都内に特別養護老人ホームの空きがないからと、茨城県水戸市から車で2時間の施設に行かざるを得ません。

（西口友紀恵）
年4万数千円。洋子さんの年金は月約5万6千円でした。そこから介護保険料と後期高齢者医療保険料が引かれます。「妻の年金は介護と医療の自己負担分で消えてしまいま。

生活の余裕はなく、2人の夫婦やかな楽しみだった観劇や野球の観戦などもやめました。完さんは「反正妻が施設に入所ということになると経済的な負担が増え私の生活はどうなるか」と不安を感じます。

（西口友紀恵）
年金を週3回支給されますが、夫婦の年金合計は34万円になります。夫婦の年金合計は34万円です。誰でも年をとれば病気や通院が増えるのに窓口負担を2倍にするなんて恐ろしい」と完さん。「こんな高齢者はじめの安倍政権には一日も早く退場してもらわなければ」と力を込めます。

（西口友紀恵）
年金を週3回支給されますが、夫婦の年金合計は34万円です。誰でも年をとれば病気や通院が増えるのに窓口負担を2倍にするなんて恐ろしい」と完さん。「こんな高齢者はじめの安倍政権には一日も早く退場してもらわなければ」と力を込めます。



東京・練馬 長原完さん 洋子さんは

■介護保険改悪プラン
 ▽要介護1、2の生活援助サービスの総合事業への移行▽ケアプランの作成費用などの自己負担化▽利用料2割・3割と対象をさらに拡大▽施設入所者の居住費・食費の自己負担の引き上げ▽現在自己負担なしの施設入所者の室料有料化▽利用者負担上限額の引き上げなど8項目（厚生労働省が審議会に出した資料から）

年34万円に

の介護保険料を引かれるのに、いざというときにサービスを使えない。介護保険は詐欺じゃないかと怒りが広がっています。

（西口友紀恵）

医療でも容赦のない患者負担が狙われています。財務省は「医療制度改革案の主な検討事項に、75歳以上の窓口負担を、いまの原則一割から2割に引き上げる▽現役世代を含め、外来受診時に通常の一部負担とは別に定額負担を求めるなどを盛り込みました。

（西口友紀恵）
「年寄りは医療を受けるなどいうことが」と憤慨する完さん。高血圧や不整脈、糖尿病、線内障、がんの経過観察などで毎月通院しています。

（西口友紀恵）
「今まで医療費負担は2人で年に十数万円に上ります。介護と医療の保険料は年間約34万円です。誰でも年をとれば病気や通院が増えるのに窓口負担を2倍にするなんて恐ろしい」と完さん。「こんな高齢者はじめの安倍政権には一日も早く退場してもらわなければ」と力を込めます。

介護利用料は一割負担で

治癒後も月額1万円の自

治癒後も月額1万円の自